

## 【令和7年度 研究テーマ】

みんなが“いきいき”とした学校にするためには

### 【研究のねらい】

学校が子どもにとっても、関わるすべての大人にとっても、いきいきと成長していける場所となるために、子どもと向き合う中で日頃から感じている課題に前向きに向き合っていく研究としてきた。

本校における”いきいき”とした学校とは、子どもも大人も、みんながやってみたいことに挑戦できる学校と考えており、「子どもの笑顔のために〇〇したい」という同じ想いをもった教職員同士と活発でフラットな対話を重ねることで、同僚性を高め、効果的な課題解決に繋げていくことを目指してきた。



### 【研究の方法】

児童生徒の主体性を引き出すきっかけづくりや、学校がよりよくなるアイデアを形にするために、今年度は一人一人が自分の興味関心に従って、所属したいグループを選択し、同じ想いを持った教員同士で構成されているグループ研究の手法を取り入れている。①子どもと向き合うための環境整備、②集団授業、③ケーススタディ、④交流(共同学習)、⑤素材作りの5つの大きなグループに分かれ、そこからさらに詳しいテーマごとと細分化された16の小チームで研究を行ってきた。小チームのテーマ決定は、現状(身近な課題)を踏まえた上で、「〇〇したい!」をアンケートで吸い上げ、決めていった。

研究日は月に1回設定し、進捗状況の確認や意見交換、作業を行った。また、「〇〇したい」の実現に向かって、PDCAサイクルをCAPDの順に変えて実践した。(参考:「熊本県熊本市立長峰中学校 プロジェクトS」)

### 【研究の成果】

成果については、各チームごとにまとめたものを次頁にて報告する。